

2015～2016年度 R.I.テーマ  
世界へのプレゼントになろう

R.I.会長 K.R. "ラビ" ラビンドラン

事務所 飯田市通り町4-1293-1

☎23-3430 FAX23-3433

URL:<http://iidarotary.com/>

E-mail:[iidaro@titan.ocn.ne.jp](mailto:iidaro@titan.ocn.ne.jp)

例会日 毎週水曜日 PM12:30～13:30

例会場 シルクホテル ☎23-8383

会長 外松 秀康 幹事 木下 伸二

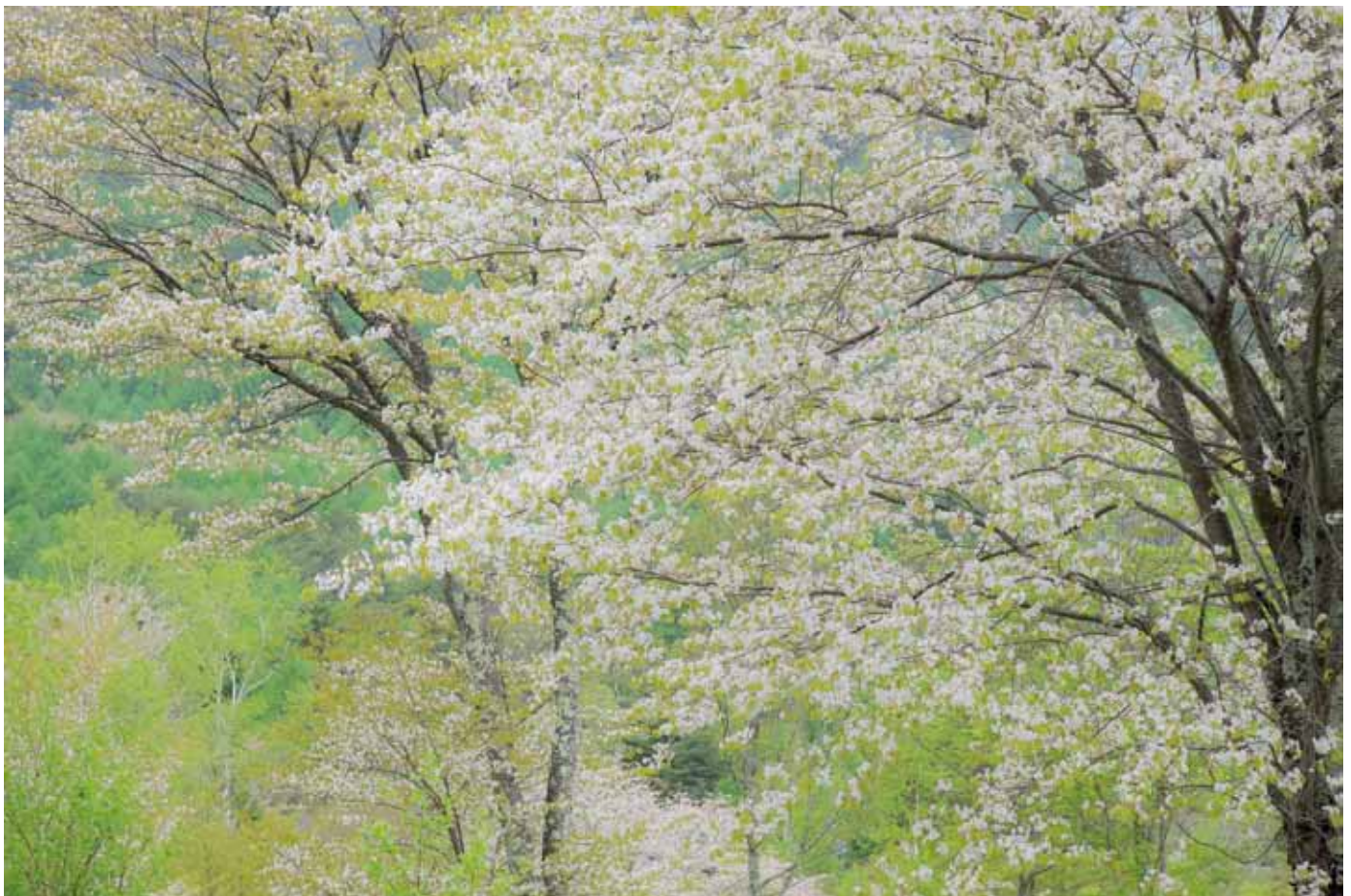


## 会 報

2015.7～2016.6 No.5  
**MONTHLY REPORT**

## 3月号

# 60年の感謝から奉仕の広がりへ



三寒四温の季節から本格的な春の訪れを感じる3月、梅や桜が咲きみだれ、何となくきうきうしてくる季節ですが、暖冬の今年はいつまでか冬でいつからか春なのかどうもはっきりしません。1月には早々に梅の開花が告げられ、2月に入り満開の梅をあちらこちらで目に見ると、春の訪れを楽しむより梅の実が付くのか、果樹は大丈夫か、なんて心配してしまいます。

こうなると今年の桜はいつ咲くのだろうと時候の挨拶になるほど興味深いですね。一本桜で有名な飯田では例年3月下旬から4月半ば、今年は丁度お練り祭りの年。その後も各地の神社では春祭りが盛んに行われ屋台獅子が練り歩きます。満開の桜の下での祭りが見られれば春のきうきう感も最高潮となるのですが。

写真は治部坂峠の山桜です。こちらは例年5月の連休あたりが見ごろ、もう少し桜を見たいと思ったらお出かけください。新緑と桜のコラボがとても美しいです。

(撮影・文 加藤優治)





私のこの一冊

『古川智映子』



老眼鏡（遠近両用）を使うようになって本をあまり読まなくなったこの頃ですが（もともと余り読まない小生ですが）NHKの朝ドラ「あさが来た」を面白く見ております。このドラマのもとになった小説が「土佐堀川」（古川智映子著）です。今回必要にせまられて読んでみることにしました。

幕末から明治初期、女性の社会進出など許されなかった時代に遅く明るく生きて女性がいました。主人公は広岡浅子です。炭鉱事業や銀行、そして女子大の創設（後の日本女子大）生命保険会社（大同生命）と当時としてはなんとも凄い女性起業家です。東の渋沢栄一、西の五代友厚と言われた経済人や津田塾大の津田梅子などとも親交があったそうで驚くばかりです。

その広岡浅子女史について調べてみました。

- 1849年（嘉永2年）山城国京都・油小路通出水の小石川三井家六代当主・三井高益の四女として生まれる。17歳で鴻池善右衛門と並ぶ大阪の豪商であった第八代当主・加島屋久右衛門正饒の次男 広岡信五郎と結婚
- 1884年（明治17年）炭鉱事業に参画
- 1888年（明治21年）加島銀行設立
- 1901年（明治34年）日本女子大設立
- 1902年（明治35年）大同生命創業
- 1919年（大正8年）東京にて70才で死去

朝ドラで流れているテーマソング「365日の紙飛行機」の歌詞が彼女の生き方そのままのような気がしますので紹介します。

朝の空を見上げて 今日という一日が  
笑顔でいられるように そっとお願ひした

春原 農

時には雨も降って 涙も溢れるけど  
思い通りにならない日は 明日頑張ろう

ずっと見てる夢は 私がもう一人いて  
やりたいこと 好きのように 自由にできる夢

人生は紙飛行機 願い乗せて飛んで行くよ  
風の中を 力のかぎり ただ進むだけ  
その距離を競うより どう飛んだか どこを飛んだのか  
それが一番大切なんだ さあ 心のままに  
365日

飛んで行け 飛んでみよう  
飛んで行け とんでみよう

さて、古川智恵子氏のこの作品のすぐ後に書かれた飯田にゆかりのある維新の女傑と言われる松尾多勢子をえがいた「赤き心を おんな勤王志士 松尾多勢子」という作品がありますので紹介したいと思います。

そのあとがきより「多勢子は数え年52歳の高齢で志を立て 尊王の活動をするためにこの下伊那豊丘村から京へ上って行った。母親として務めも家業もすべて人並み以上にやりおこなったうえでこの事であった。誰に薦められたわけでもなく自分の意志によって。女性の自立など考えられない古い時代の話である。多勢子は2つの大きな仕事を成し遂げている。一つは岩倉具視の命を助け、もう一つは孝明天皇暗殺という幕府方の密謀を探り出していた。」とあります。当地にこのように女性がいたのですね。是非読んでみて下さい。

わたし しゅみ 私の趣味



I like...

久保田栄一です。

私の好きな言葉に「好きこそ物の上手なれ」の言葉があります。誰でも好きでやっていることは一生懸命であるし上達するという意味です。私の趣味の中で1番回数の多いのがやはりゴルフです。上達はしませんが、何故か高森CCでハンデキャップが13になってしまい実力以上ではないかと思ひます。ゴルフの楽しさはスコアが数字で表れてくる事です。だから良くて悪くても、次もやりたいという意欲が湧き楽しいのです。前は95回でラウンドして今回は87回、何とかしてその数字越えようと努力することです。ゴルフがしたいと思うと、日常生活で風邪などをひかない。また、不意な怪我をしない、腰を痛めない等注意をします。そして、ゴルフが少しは上手になれるように練習したり体操したりして、1ラウンド出来る体力を養うために歩いたりすることです。すべて健康には好循環になると思ひます。私の父は87歳で亡くなりましたが、86歳の年末に入院する1ヶ月前まで高森CCでゴルフをしていました。その源はゴルフが好きだった事で朝から犬の散歩をして階段の上がり下がり体力を付けたからだと思ひます。私もそうであつたらと思ひます。

次に、ライフワークにしているのが音楽鑑賞と美術館の特別展の鑑賞です。学生時代はクラリネットを演奏していましたが今は出来ません。だから鑑賞のみで音楽を楽しんでいます。飯田の

田舎にいても伊那文化会館、カノラホールでクラシックの有名な作曲家の演奏やオペラを比較的安く聞けて有難いです。オペラは大好きです。椿姫、アイーダ、フィガロの結婚、カルメン等を聞きました。内容は難しくありませんがソプラノの独唱には圧倒されます。今年も日本全国に多く美術展が開催されます。特に、レオナルドダビンチ展、ポッティチェリ展が4月上旬まで開催しています。日本という国は音楽、美術など最高文化がその地に行かなくても鑑賞できる幸福で豊かな国と思ひます。

最後に旅行の話させてください。私は世界遺産旅めぐりを趣味としています。ローマ、アンコールワット、屋久島縄文杉、中国の九寨溝・黄龍に行きました。一昨年行った九寨溝・黄龍は圧巻の一言でした。今後もこの旅を続けたいと思ひます。先立ってはスペインに行きたいですね。



屋久島縄文杉



黄龍の五彩池



この時期、ロータリークラブの事業が多く、今回のマンスリーはその記事が中心となりました。各寄稿者の力の入った記事をご覧ください。今後はメイン事業である飯田ロータリークラブ60周年記念式典に向け、全メンバーが一丸となって準備して参りましょう。（クラブ広報委員長 中村洋次朗）